

トピックス 「脱線防止に役立つ実用成果説明会」を開催

鉄道総研は、去る平成29年7月6日に脱線防止に関する開発成果をご紹介することを目的として「脱線防止に役立つ実用成果説明会」を国立研究所において開催し、鉄道事業者を中心に36社、119名の方にご参加いただきました。講演会では、脱線しにくい台車に関する講演(3件)、安全性向上に資する軌道管理技術に関する講演(3件)、および、地震時の車両脱線対策技術に関する講演(1件)を

行いました。講演会に引き続いて各講演に関連する成果物の展示を行い、実物・模型・映像をご覧いただきながら具体的に活用方法をご説明し、ご来場者と意見交換を行いました。また、成果物展示会と並行して、所内試験線において脱線しにくい台車の試乗および見学会を行い、多くの方にご体験いただきました。

記

1.開催日時：平成29年7月6日(木) 14時00分から17時30分

2.場 所：鉄道総研 国立研究所 インタラクシオンスクエア

3.プログラム

●講演会

「開会の挨拶」

事業推進部長

館山 勝

(1)「脱線しにくい台車構成技術Ⅰ(輪重減少抑制機構)」

鉄道力学研究部 車両力学研究室 主任研究員

鈴木 貢

(2)「同Ⅱ(アシスト操舵機構)」

車両構造技術研究部 車両振動研究室 主任研究員(上級)

鴨下 庄吾

(3)「同Ⅲ(走行試験結果, 台上試験結果)」

鉄道力学研究部 車両力学研究室 主任研究員

鈴木 貢

(4)「安全性を向上する軌道管理Ⅰ(慣性正矢軌道検測装置)」

軌道技術研究部 軌道管理研究室 主任研究員

坪川 洋友

(5)「同Ⅱ(LABOCSと乗り上がり脱線評価ツール)」

軌道技術研究部 軌道管理研究室 副主任研究員

田中 博文

(6)「同Ⅲ(連続的に輪重・横圧を測定するシステム)」

車両構造技術研究部 車両運動研究室 副主任研究員

遠竹 隆行

(7)「地震時の車両脱線対策技術(車両諸元が地震時走行安全性に及ぼす影響)」

鉄道力学研究部 車両力学研究室 副主任研究員

中嶋 大智

●成果物展示会

(1)脱線しにくい台車を構成する技術

(輪重減少抑制機構模型展示, アシスト操舵機構)

(2)慣性正矢軌道検測装置と高頻度軌道検測支援ツール

(3)LABOCSと乗り上がり脱線評価ツール

(4)新連続PQ測定システム

(5)地震時脱線対策技術(地震動対策ダンパ実物展示)

(6)地震時走行安全解析



講演会



成果物展示会